

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2006年5月10日発行

No.34



5月5日 こどもの日企画

「自然を遊ぼう!!」

こどもの日に身近な自然を発見し楽しんでもらおうと、センター前の芝生広場周辺で自然を使ったゲームを行いました。

参加者はグループに別れ、ボランティアさんがリーダーとなり、ゲーム「動物ジェスチャー」の開始です。声を出さずにジェスチャーで動物を表現します。トントンミーのマネをしたグループは腹ばいになってジャンプ!! どのグループも名演技を見せてくれました。

その後、グループごとにゲームを行いました。匂いだけでケースの中身をあてる「匂いあてゲーム」では、月桃の葉の匂いをかいた子供が「ムーチー!!」(月桃の葉で包んだ沖縄のお餅)と即答する場面がありました。生活に密着した野草は分かりやすいんですね。意外に「土」が分からない方が多かったようです。

途中、ジュースやサーターアンダギーなどで休憩をとりながら、葉っぱで遊ぶ「葉っぱっぱ」や虫眼鏡を使って小さな探検旅行に出かける「マイクロハイク」などのゲームを行いました。

トントンミーだよー!



最後のゲーム「ネイチャーライン」は、チーム対抗で行いました。3分間で周辺の自然から「長いもの」を探してきます。それをつないで、一番長かったチームの勝ち!! 豪華賞品がかかっているとあって、みなさん必死です。職員が想像もしなかった長い草やツルが集まりました。

今回は、18年度第1回目の行事というだけでなく、講師を招かず、ボランティアさんと職員で行うというセンター初の試みでした。ボランティアさんも職員も緊張しながらの進行でしたが、参加者から「予想以上に楽しかった。」との感想をいただき、ホッとしています。ご協力いただいたボランティアさんは、臼井利夫さん、天野正晴さん、長澤拓朗さん、橋本多代さん、与那嶺涼子さんの5名です。

ボランティアのみなさん、ありがとうございました!!



左:「匂いあてゲーム」で匂いをかぐ参加者。ちなみに中身は月桃・ヨモギ・玉ネギ・土です。

右:「マイクロハイク」で小さな探検旅行。宝物を見つけられたかな?

** 漫湖水鳥・湿地センター 年間行事予定 **

漫湖水鳥・湿地センターでは、平成 18 年度もいろいろな行事を企画しています。日程などの詳細は、決まり次第通信やホームページにてお知らせします。(行事の日時・内容等は都合により変更になる場合がございます。ご了承下さい。)

	観察会	自然講座・アート教室	その他
4 月			
5 月	こどもの日企画		
6 月		25 日:カニの観察会	
7 月		15 日:マングローブ講座	
		水質講座	
		昆虫標本作製	
8 月	干潟の生き物観察		作文・絵画 コンクール 
	カニの観察会		
		絵画教室	
9 月	魚の観察会		
10 月	自然観察ウォーキング		
11 月			講演会
12 月	自然と遊ぼう		
1 月	野鳥の観察会		
2 月	野鳥の観察会		
3 月			

漫湖水鳥かわら版 33

～4月 立ち寄った鳥たち～

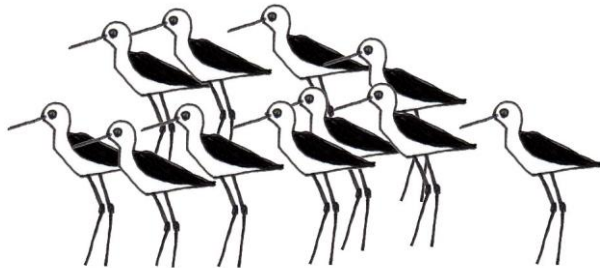
4月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	1	→
ササゴイ	1	→
アカガシラサギ	1	↑
アマサギ	2	↑
ダイサギ	20	↑
チュウサギ	13	↑
コサギ	6	↓
アオサギ	20	↓
クロツラヘラサギ	5	↑
ミサゴ	4	↓
バン	1	↓
ムナグロ	9	↓
ダイゼン	3	↓
アカアシシギ	7	↓
アオアシシギ	26	↓
キアシシギ	1	→
イソシギ	6	↓
ダイシャクシギ	3	↓
チュウシャクシギ	12	↑
タシギ	2	↑
セイタカシギ	34	↑
ハクセキレイ	1	↓
合計	178	↓

4月16日

あれ？漫湖では見慣れない鳥がいます。細いクチバシと長い脚、セイタカシギです。周辺の干潟や池ではよく見かけますが、漫湖では1年に数回しか見ることがありません。

しかも、この日は34羽も1箇所に集まって過ごしていました。

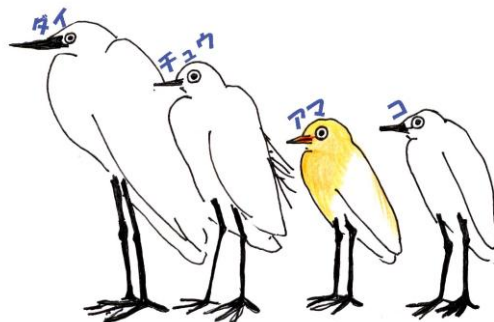
4月中にセイタカシギを確認できたのは、15日と16日の2日間だけでした。渡りの途中、立ち寄ってくれたのかな？



4月7日

この日もセンターから望遠鏡をのぞくと、ダイサギ・チュウサギ・コサギなどたくさんのシラサギ類を観察できました。その中に1羽様子の違うシラサギが混じっています。アマサギです。1羽だけでどうしたのでしょうか？

真っ白なシラサギの中で1羽だけ頭のオレンジ色が目立っていました。



4月24日

この日はアカガシラサギが確認できたようです。(沖縄野鳥の会 山城正邦さん確認)

春、鳥の渡りの季節、いろいろな鳥が漫湖に立ち寄り、羽を休めているんですね。

新展示!! 「鳥の体重ってどのくらい?」

センターに新しい展示が登場しました。

望遠鏡や大型カメラでセンターからはさまざまな鳥を観察することができます。しかし、鳥を手を持つ機会はそうそうないですね。遠くに見える鳥の重さはどのくらいなのでしょう? そんな疑問に答えるべく、実物の鳥と同じ体重のぬいぐるみを製作しました。その手に抱いて、鳥の重さ確かめてみてください。哺乳類のマングースもいます。鳥は、マングースは、重い? 軽い? ?

鳥が飛ぶための工夫についての展示も製作しました。

この展示は、すべてボランティアさん達の手作りです。ぬいぐるみは、型紙から丁寧に作っていきました。

ボランティアさん達の心のこもった展示です。

写真右上: やっと完成!! 製作してくれたボランティアさん達。

写真右: ぬいぐるみ製作中。ほとんど手縫いです。



ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ

団体利用

4月	地域
保育園・幼稚園	
琉生保育園 (2回)	那覇市
医療・福祉関係	
デイサービスこはぐら	那覇市
その他	
とよみ小学校教師研修	豊見城市
島根県庁職員	那覇市
JICA	外国
那覇市職員視察研修	那覇市
地域環境セミナー	



総入館者数

59,913名

4月の入館者数
951名
うち団体 **161名**

*** 編集後記 ***

新年度スタート!!

漫湖水鳥・湿地センターで会いましょう。



広川 ヨシ子

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)